取扱説明書
保証書

Melitta®

アロマフレッシュサーモ

AFT1022

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。保証書はこの取扱説明書に付いておりますので、販売店の記入をお受けください。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管してください。

メリタジャパンお客様相談室

0570-550267 ＊通話料はお客様負担となります。

Melitta® JAPAN

www.Melitta.co.jp

® Registered trademark of a company of the Melitta Group

安全上のご注意

ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。誤った取り扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」に区分してあります。

▼ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して明示しています。

警告	死亡や重傷を負う恐れがある内容です。
注意	傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

▼ お守りいただく内容を次の図記号で明示しています。

禁止	してはいけない内容です。	必ず守る	実行しなければならない内容です。

警告

交流100V以外では使用しないでください。感電・火災・けがの原因になります。	コンセントは定格15A以上のものを単独で使用してください。他の器具と併用したり延長コードを利用したりすると異常発熱して発火することがあります。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。	本体や電源プラグを水に浸けたり水をかけたりしないでください。内蔵の電気部品に水が入り、ショート・感電の恐れがあります。
電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。	電源コードを傷つけないでください。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災・けがの原因になります。
電源プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。	電源プラグのほこりなどはプラグをコンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭き取ってください。火災の原因になります。
分解・修理はしないでください。故障や異常があった場合は弊社お客様相談室へご連絡ください。	改造しないでください。感電・火災・けがの原因になります。
電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。	異常を感じたり、故障したりした場合は直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、火災・感電・けがをする恐れがあります。
稼働中のミルやコーヒー粉の通り道のフタには直接触れないでください。けがをする恐れがあります。	乳幼児の手の届くところに置いたり、近くで使用したりしないでください。火災、感電、けがをする恐れがあります。
お子様だけで使用したりしないでください。やけど、感電、けがをする恐れがあります。	水槽タンクやホッパーなどをセットせずに使用しないでください。やけどをする恐れがあります。
電源プラグを舐めないでください。乳幼児が誤って舐めないように注意してください。感電やけがの原因になります。	保護スイッチを指などで押して動作させないでください。けがをする恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

コーヒー抽出中や電源オフ直後は本体に触れないでください。高温部でやけどをする恐れがあります。	コーヒー抽出口に手や指を近づけないでください。コーヒーや湯がかかりやけどをすることがあります。
コーヒー抽出中や抽出直後にフィルターカバーを開けたり、蒸気抜け口に触れたりしないでください。やけどをする恐れがあります。	ステンレスポットをセットせずに使用ないでください。やけどやけがの原因になります。
電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電したりショートして発火したりすることがあります。	お手入れは本体が冷めてから行ってください。高温部でやけどをすることがあります。
たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に置かないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。	壁や家具の近くで使用したりしないでください。蒸気による変色・変形の原因になります。
使用時以外（目が届かない場所に離れる場合を含む）は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。	ステンレスポットを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。
部品の取り付け・取り外しは、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。けがをする恐れがあります。	ミル歯に直接手で触れないでください。けがをする恐れがあります。

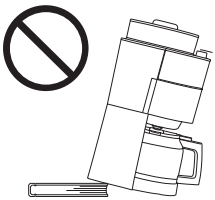
使用上の注意

空運転禁止

水槽タンクに水が入っていない状態で運転すると故障の原因になります。

水以外は使用しない

水槽タンクに牛乳や酒など水以外のものやお湯を入れないでください。故障の原因になります。



不安定な場所で使用しない

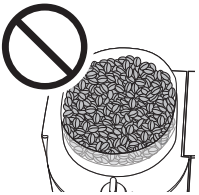
本体を傾けた状態や不安定な場所で使用しないでください。本体が倒れてお湯やコーヒーでやけどをすることがあります。

コーヒー豆以外には使用しない

この製品のミルはコーヒー豆専用です。コーヒー豆以外（湿ったコーヒー豆や生豆を含む）を挽くと、内部の詰まりや破損など故障の原因になります。

コーヒー豆を挽いている間はホッパーのフタを開けない

ホッパーのフタを開けると安全装置が働いて停止します。ホッパーのフタ以外で安全装置を解除しないでください。



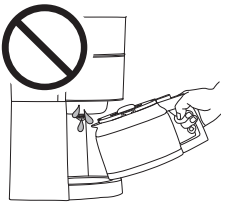
コーヒー豆をホッパーに放置しない

異臭や故障の原因になります。ホッパー内のコーヒー豆は3日以内に使い切るようにしてください。

安全上のご注意

抽出中は蒸気抜け口に顔や手を近づけない

コーヒー抽出中や抽出直後は蒸気が出て大変危険です。蒸気抜け口に手を近づけたりやフィルターカバーを開けたりしないでください。

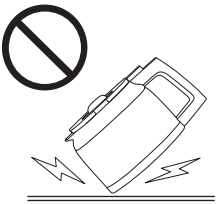


抽出中にステンレスポットを取り出さない

熱いコーヒーが飛び散り、やけどをする恐れがあります。抽出が完全に終わったことを確認してからポットを取り出してください。

保温ポットの横転注意

保温中に横転させるとコーヒーが漏れ出し、やけどをすることがありますので注意してください。ポットのフタは密閉されていません。



ステンレスポットに衝撃を与えない

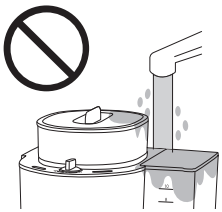
ステンレスポットを倒したり、硬い物にぶつけたりしないでください。やけどや破損の原因になります。

コーヒー粉を入れすぎない

目安以上のコーヒー粉を入れるとコーヒーがあふれてやけどをすることがあります。

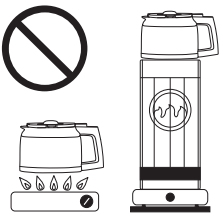
連続抽出は5分以上待って

続けてコーヒーを抽出する場合は電源が切れてから5分以上待ってください。本体が熱いうちに水の入った水槽タンクをセットすると、蒸気が出てやけどすることがあります。



本体は水洗いしない

本体を水洗いしたり、水に浸けたりしないでください。絶縁性能が低下し、感電や故障の原因になります。



ステンレスポットを直火やストーブで温めない

ガスレンジの直火やストーブなど暖房器具の上でのご使用は大変危険ですので絶対にしないでください。

ステンレスポットなどを食洗機や電子レンジに入れない

ステンレスポットや水槽タンク、内部フィルターなど取り外しが可能なパーツを電子レンジや食洗機に入れないでください。破損の原因になります。

各部の名称

ホッパーフタ

ホッパー

水槽タンクフタ

蒸気抜け口

内部フィルター

水槽タンク

フィルターカバー

電源ボタン

＊操作ボタンについては
P5参照

開閉ボタン

電源コード

注水レバー

ポットフタ

電源プラグ

コーヒー受け口

同梱付属品

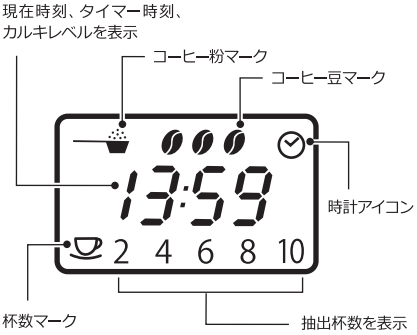
クリーニングブラシ

仕　　様	
抽　出　方　法	ペーパードリップ式
定　　格	AC100Ｖ／850W
最 大 水 容 量	1.25 ℓ（10杯用）
温度ヒューズ	229℃
大　き　さ	幅263ｘ奥行237ｘ高さ458mm
重　　量	4.7kg

※商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。 部品の購入方法は、当社ホームページをご覧ください。

各部の取扱方法

操作ボタンとディスプレイ表示



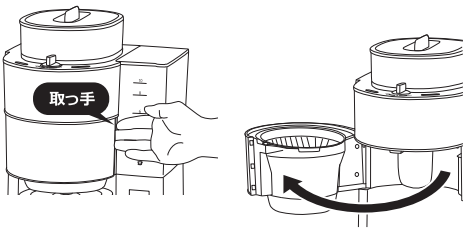
＊杯数ボタンを長押し（2秒）するとディスプレイにライトが点灯します。消灯したい場合はもう一度杯数ボタンを押します。

ボタンと名称	機　能
h 時間設定ボタン	現在時刻、タイマーの時間設定
m 分設定ボタン	現在時刻、タイマーの分設定 CALCボタンとともにカルキレベル設定
杯数ボタン＊	コーヒー豆を挽く量の設定 ディスプレイライトの点灯・消灯
ON/OFF 電源ボタン	ミル、抽出のスタート・中止
コーヒー豆ボタン	コーヒー濃度の設定
TIMER タイマーボタン	タイマーの設定・スタート
コーヒー粉ボタン	コーヒー粉モード・コーヒー豆モードの設定、コーヒー粉通り道の開閉
CALC CALCボタン	カルキレベルの設定

フィルターカバーと内部フィルター

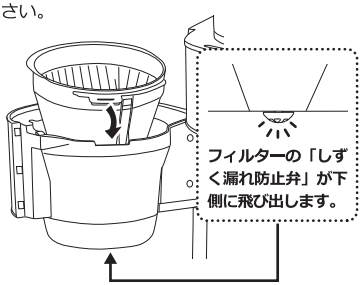
開閉のしかた

本体を押さえながらフィルターカバーの取っ手に指をかけ、手前に引いて開きます。
閉めるときは「カチッ」と音がするまで閉めてください。



内部フィルターの取り付け方

内部フィルターの持ち手を手前にしながら、フィルターカバーの切り欠きにはまるよう確実に挿入してください。

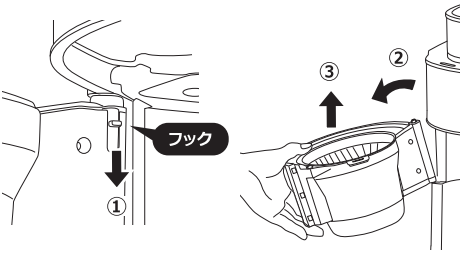


フィルターカバーの外し方

① フックを下に下ろしてフィルターカバーのピン（取り付け軸）を外します。

② フックを下ろしたままフィルターカバーを斜め下に傾けるようにして上側のピンを外します。

③ フィルターカバーを軽く持ち上げて下側のピンを外します。



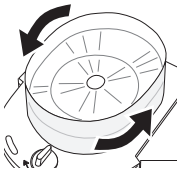
⚠ 注 意　**内部フィルターが正しくセットされていないとフィルターカバーがきちんと取り付けられません。また、コーヒーを抽出するときにステンレスポットからこぼれたり、抽出できない原因になります。**

各部の取扱方法

ホッパー

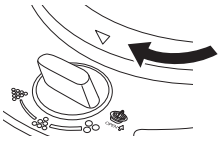
ホッパーの取り外し方

ホッパーを両手で押さえ、反時計回りに回転させます。



ホッパーの取り付け方

ホッパーと本体にある▽マークの位置を合わせてはめ込み、ホッパーを両手で押さえ、時計回りに回転させます。ホッパーの▽マークが本体正面に合っていることを確認します。



水槽タンク

取り外し方

水槽タンクのフタを開け、タンク内に収納された取っ手を持って真上に引き上げ、本体から取り出します。

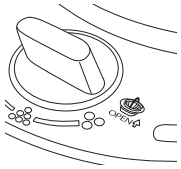
取り付け方

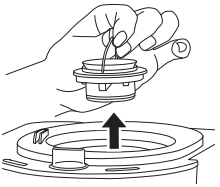
本体側面のガイドレールに沿って、上からゆっくり本体にセットします。

ミル歯

ミル歯の取り外し方

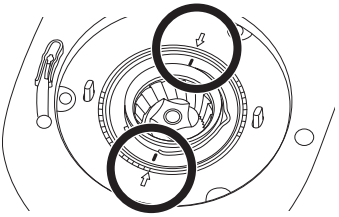
電源をオフにして、挽き目調整ダイヤルを反時計回りに回し「OPEN」の位置に合わせます。ホッパーを取り外した後、ミル歯の取っ手を持ってゆっくり引き上げます。





取り付け方

ミル内のコーヒー豆をブラシでかき出した後、ミル歯の▮マークと本体の矢印マークが合うようにはめ込みます。挽き目調整ダイヤルを時計回りに回して「OPEN」以外の位置に合わせると、ミル歯が固定されます。



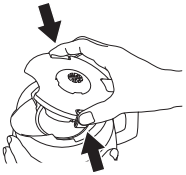
⚠ 注 意 **水槽タンクに水を入れるときはタンクを本体から外してください。本体に取り付けた状態で注水し、水がこぼれて本体内部に入ると故障の原因になります。**

ステンレスポット

この保温ポットはコーヒー保温容器です。他の機種での使用やコーヒーの保温以外の目的にはご使用にならないでください。

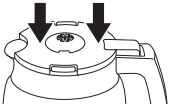
フタの開け方

両方の開閉ボタンをいっしょにつまみながらポットフタを真上に上げてください。



フタの閉め方

パチンと音が鳴るまでまっすぐに押し込んでください。



コーヒーの注ぎ方

注水レバーを押してから注いでください。注ぎ終えてポットが水平になってから、レバーから手を離してください。

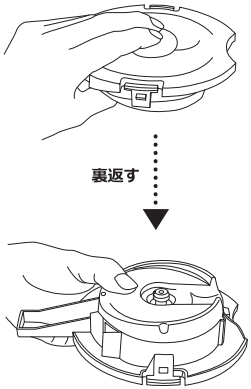
各部の取扱方法

ステンレスポットフタのお手入れ

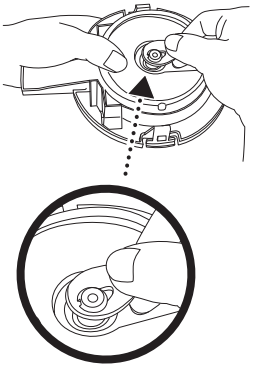
フタは下図の4つの部品に分解できます。清掃は分解して行ってください。
中性洗剤を加えたぬるま湯に浸して柔らかい布かスポンジで洗い、よくすすいでください。
洗い終わったあとは自然乾燥させるか、乾いた布で水気を十分に拭き取ってください。

分解のしかた

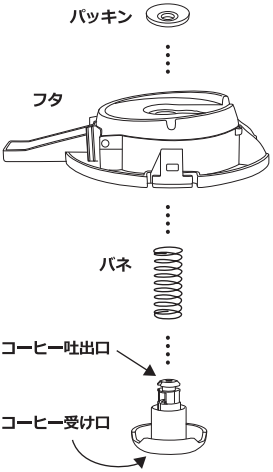
① フタのコーヒー受け口を押さえ、そのままフタを裏返します。



② コーヒー吐出口に装着されているパッキンを引っ張りながら取り外します。

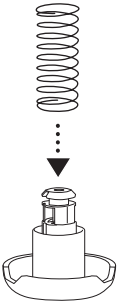


③ 4つの部品を確認してください。

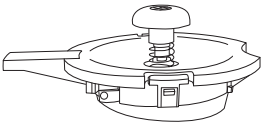


組み立て方

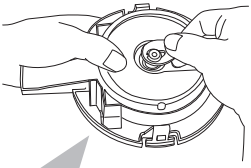
① コーヒー受け口にバネをセットします。



② コーヒー受け口をバネごとフタに装着します。



③ コーヒー受け口を押したままフタを裏返し、コーヒー吐出口の溝にパッキンを引っかけ、引っ張りながら取り付けます。



必ず、パッキンが反っている方 を外側にして取り付けてください。

info：パッキンやバネなどフタのパーツ販売は致しておりません。お手入れの際、紛失しないようにご注意ください。

ご使用の前に

時刻の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに「12：00」が点滅します。時間設定（h）ボタン、分設定（m）ボタンを押して、現在の時刻にセットしてください。

＊時刻をセットしなくても抽出は可能です。お急ぎの場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだ後、そのまま電源ボタンを押すとコーヒーの抽出が始まります。

水の硬度設定

本機にはカルキ汚れの蓄積をお知らせする機能があります。お知らせが正しく機能するようにお住まいの地域の水の硬度に合わせて硬度の設定をしてください。

① 電源プラグを差し込み、時刻の設定をしてください。
（前項「時刻の設定」参照）

② CALCボタンを長押しします。
＊設定中のレベル値がディスプレイに表示されます。

③ CALCボタンを押したまま（m）ボタンを押すごとにレベル値が替わります。右の表を参考に、設定したいレベルを選んでください。
＊工場出荷時は「4」にセットされています。

④ レベルを選択したら、CALCボタンから指をはなして設定を保存します。

レベル	硬　　度	
1	125mg/L未満	軟水
2	125～250mg/L	↕
3	250～375mg/L	↕
4	375mg/L以上	硬水

硬度はお住まいの地域の水道局などにお問い合わせください。分からない場合は「1」に設定してください。

⚠注 意　コーヒー抽出中に硬度の設定はできません。必ず抽出前に設定してください。設定した硬度レベルは電源コードを抜いても保存されます。

洗浄運転

初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、本体内部を以下の手順で2回、洗浄運転してください。

① ホッパーを本体から外し、湿らせた布で汚れを拭き取ります。

② ミル歯とホッパー以外の取り外せる部品を水洗いします。

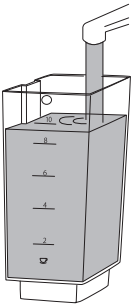
③ 水槽タンクに目盛り「10」まで水道水を入れます。

④ コーヒー粉ボタンを押してコーヒー粉モードにします。ディスプレイにコーヒー粉マークが表示されていれば設定完了です。

⑤ ペーパーフィルター、コーヒー粉を入れずにフィルターカバーを閉じ、電源ボタンを押します。　＊P10 ご使用方法：②～③参照

⑥ 水槽の水が完全になくなり、電源ボタンのランプが消灯すれば1回目終了です。

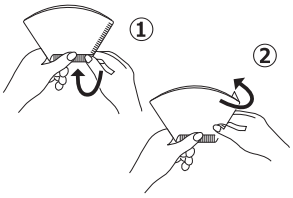
⑦ ③～⑥の操作をもう一度繰り返します。



ご使用方法

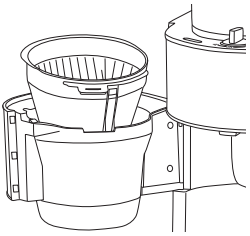
抽出準備

1.ペーパーフィルターを折る



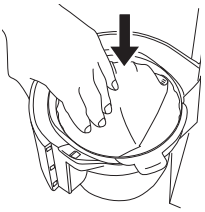
ペーパーフィルターの2カ所を図のように折ります。「メリタペーパーフィルター1×4」をお使いください。

2.内部フィルターをセットする



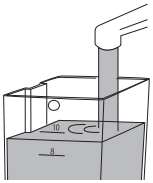
フィルターカバーを開け、内部フィルターをセットします。 ＊ P5参照

3.ペーパーフィルターをセット



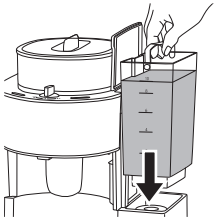
ペーパーフィルターを開いて内部フィルターにセットします。フィルターに沿うように指でしっかりと押さえつけてください。

4.水槽タンクを外して杯数分の水を入れる



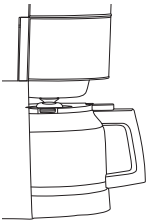
水槽タンクのフタを上げ、本体から水槽タンクを外して杯数分の水を入れます。水槽タンクの目盛りはコーヒーの出来上がり杯数の目安を示します。

5.水槽タンクをセットする



水槽タンクのフタを上げ、水槽タンクを本体にセットします。水槽タンクのフタを下ろします。

6.ステンレスポットをセットする

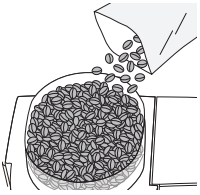


⚠ しずく漏れ防止弁とフタのコーヒー受け口の位置が合っていないとコーヒー漏れることがあります。

ステンレスポットを水平にして奥までしっかり挿入します。

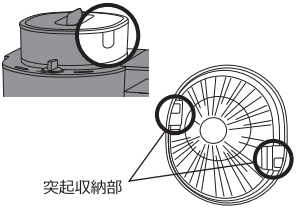
コーヒー豆から抽出する

1 コーヒー豆を入れる



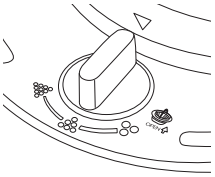
ホッパーのフタを開け、コーヒー豆を入れます。ホッパーの最大容量は180gです。
＊コーヒー粉をホッパーに入れないでください。

2 ホッパーのフタをセットする



ホッパーのフタの2つの突起がホッパー本体の突起収納部に収まるようにフタを閉めてください。

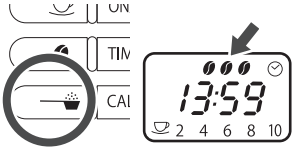
3 挽き目を設定する



挽き目調整ダイヤル（3段階）の切り替えで、製品を正面から見て左に回すほど、細めに挽くことができます。

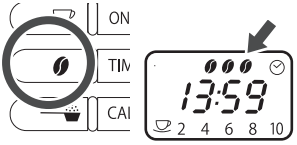
ご使用方法

4 コーヒー豆モードにセットする



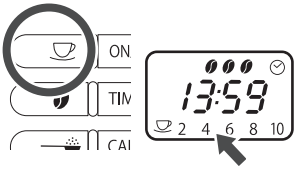
コーヒー粉ボタンを押してコーヒー豆モードに設定します。ディスプレイのコーヒー豆マークが表示されていれば設定完了です。
＊コーヒー粉ボタンを押すごとに、モードが切り替わります。

5 コーヒー濃度を設定する



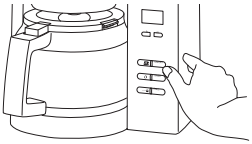
濃度設定ボタンを押すごとにディスプレイのコーヒー豆マークの数が替わります。同じコーヒー豆でマイルドからストロングまでお好みの味が楽しめます。

6 コーヒーを挽く量を設定する



杯数ボタンを押してコーヒーを挽く量を設定します。水槽タンクに入れた水と同じ数字にセットしてください。

7 電源ボタンを押してコーヒーを抽出する



ホッパーのフタを閉め、電源ボタンを押すと緑色ランプが点滅し、しばらくしてミル挽きが始まります。ミル挽きが終わると抽出が始まり、抽出が終わるとブザー音が鳴り、緑色ランプが消灯してヒーターが切れます。

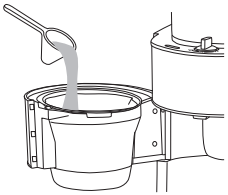
⚠ 注 意

ホッパーのフタとホッパー本体にすき間がないことを確認してください。

＊ホッパー本体とホッパーのフタでミル歯を作動させるスイッチを押す仕組みになっているため、ホッパー本体とホッパーのフタを正しくセットしないとコーヒー豆を挽くことはできません。

コーヒー粉から抽出する

1 コーヒー粉を入れる



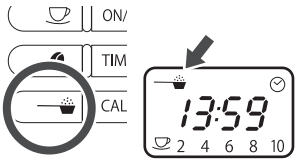
マグの場合はコーヒー粉の入れすぎに注意しながらお好みで調整してください。

杯数目盛り・水量・コーヒー粉の目安

杯数目盛り	コーヒー粉
10	10杯（約70g）
8	8杯（約56g）
6	6杯（約42g）
4	4杯（約28g）
2	2杯（約14g）

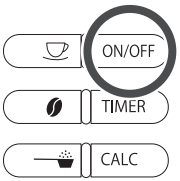
＊コーヒー豆の種類や挽き方によって異なります。

2 コーヒー粉モードにセットする



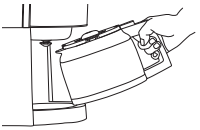
コーヒー粉ボタンを押してコーヒー粉モードに設定します。ディスプレイにコーヒー粉マークが表示されていることを確認してください。

3 電源ボタンを押す



電源ボタンを押すと緑色ランプが点滅し、しばらくしてコーヒーの滴下が始まります。

4 抽出終了を確認してカップに注ぐ



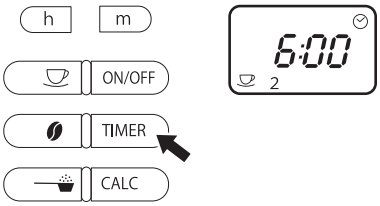
抽出が終わるとブザー音が鳴り、緑色ランプが消灯してヒーターが切れます。コーヒーが完全に落ち切ったことを確認してからポットをゆっくり抜き、カップに注ぎます。

ご使用方法

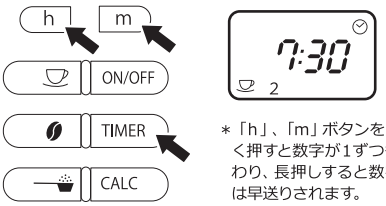
タイマーを設定する

本機にはタイマー機能が付いています。時刻設定が完了していることを確認した後、お好みの時間にコーヒー抽出時刻を設定してください。

① タイマーボタンを押し続けている間はタイマー設定モードになり、抽出予定時刻と時計のアイコンが点滅します。

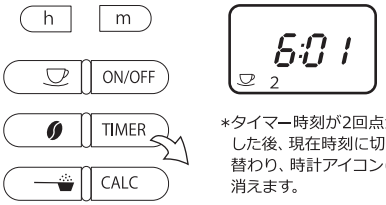


② タイマーボタンを押したまま、時間は「h」、分は「m」のボタンをそれぞれ押して希望の抽出時刻に合わせます。



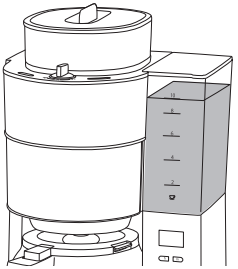
＊「h」、「m」ボタンを短く押すと数字が1ずつ替わり、長押しすると数字は早送りされます。

③ タイマーボタンから指を離すと表示が2回点滅して設定が保存されます。

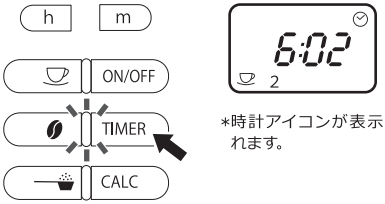


＊タイマー時刻が2回点滅した後、現在時刻に切り替わり、時計アイコンは消えます。

④ コーヒー抽出の準備を行います。
＊P9～P10参照

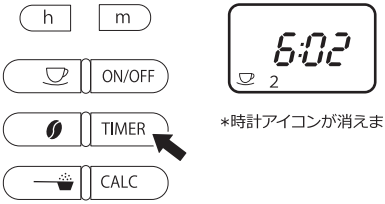


⑤ タイマーボタンを短く押すと抽出予定時刻が2秒間だけ表示され、タイマーボタン横のランプが白色点灯し、タイマーがスタートします。



＊時計アイコンが表示されます。

⑥ タイマーを解除したい場合は、もう一度タイマーボタンを短く押します。白色ランプと時計のアイコンが消え、タイマーが解除されます。



＊時計アイコンが消えます。

ご使用方法

日常のお手入れ

水洗いと洗浄運転

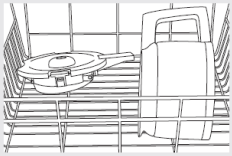
内部フィルター、フィルターカバー、水槽タンク、ステンレスポットやポットのフタは水ですすぎ洗いしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗ってください。その後、洗剤がのこらないようにすすぎ洗いをしてください。一日のご使用の終わりには、本取扱説明書8ページ目に記載の洗浄運転を実施してください。

- ステンレスポットを洗うときは必ず柔らかいスポンジで洗ってください。
- 傷の原因になるので、研磨剤入りのスポンジやクレンザー、たわし類等は使用しないでください。
- 水あかがこびりついたものは酢1に対し、ぬるま湯3の溶液に浸し、しばらく放置した後、すすいでください。
- 汚れがひどいときは酸素系台所用漂白剤などを利用してください。

中性洗剤やスポンジ

クレンザーや金属たわし

保温ポットのステンレス部とプラスチック部の間に水が入ってしまった場合は、水切りの上で一晩寝かせてください。

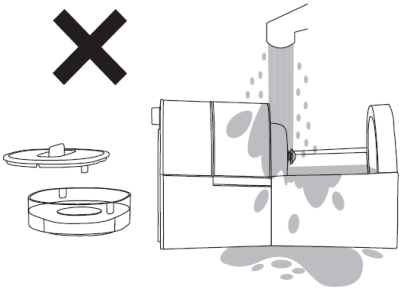


無理にステンレスポットの内部に手を入れて洗わないでください。けがをすることがあります。

内部フィルター、フィルターカバー、水槽タンクやステンレスポットは食器洗い乾燥機で洗わないでください。

水洗いできません

本体の汚れは湿った布で拭いてから乾いた布で拭き取ってください。ホッパーはクリーニングブラシでコーヒー粉を落とした後、乾いた布で拭き取ってください。ミル歯は「ミル歯・下歯のクリーニング手順」の手順でお手入れしてください。 ＊P13参照



本体には絶対に水をかけたり、浸けたりしないでください。感電や故障の原因になります。

ホッパーは水洗いしないでください。内部に水が入ると臭いや故障の原因になります。もし入った場合は、十分に乾かしてください。

シンナー、ベンジン、ベンゾール、除光液、ミガキ粉、たわしなどを使用すると変形・変色・変質したり、表面に傷がついたり破損の原因となりますのでおやめください。

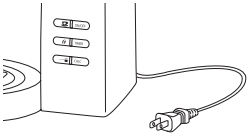
＊ 長期間使用しない場合は、上記の要領で各部をお手入れした後、保管してください。

ご使用方法

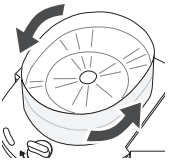
日常のお手入れ

ミル歯・下歯のクリーニング手順

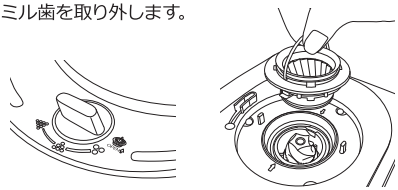
1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。



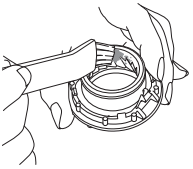
2. ホッパーを取り外します。
＊P6参照



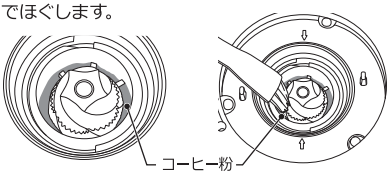
3. 挽き目調整ダイヤルをOPENの位置にセットし、ミル歯を取り外します。



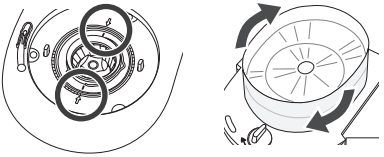
4. ミル歯は付属のクリーニングブラシで清掃します。



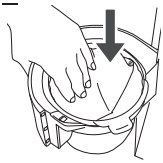
5. 下歯および下歯の周りの空間に詰まったコーヒー粉が柔らかくなるまで付属のクリーニングブラシでほぐします。



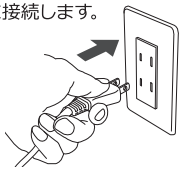
6. ホッパー・ミル歯を元の位置に戻し、挽き目調整ダイヤルを回して挽き目を設定します。



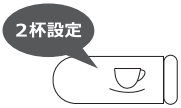
7. 内部フィルターにフィルターペーパーをセットします。



8. 電源プラグをコンセントに接続します。



9. 杯数ボタンを2杯設定にし、電源ボタンを押してミル歯を作動させ、手順5でほぐしたコーヒー粉をペーパーに落とします。
＊水槽タンクにお水をいれる必要はありません。

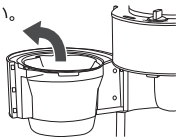


杯数ボタン

電源ボタン

10. ミルの回転が終わったら電源ボタンを押して抽出を停止します。フィルターカバーを開けてフィルターペーパーを取り出し、コーヒー粉を捨てます。その後、ご使用にならない場合は電源プラグを抜いてください。

電源ボタン

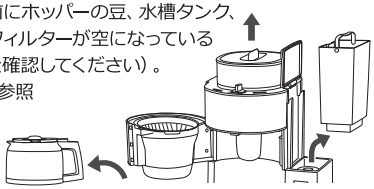


ご使用方法

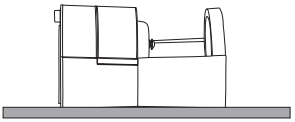
日常のお手入れ

コーヒー粉の通り道のクリーニング手順

1. ホッパー、水槽タンクとポットを取り外します（取り外す前にホッパーの豆、水槽タンク、内部フィルターが空になっていることを確認してください）。
＊p６参照

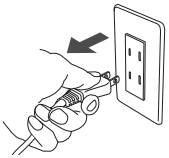


2. 平らなところで本体背面を下にして倒します。フィルターカバーを開きます。

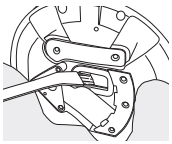


3. コーヒー粉ボタンを５秒以上長押しして、コーヒー粉の通り道のフタを開けます。

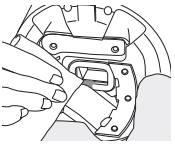
4. 電源プラグをコンセントから抜いてください（コーヒー粉の通り道は開いたままになっています）。



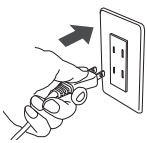
5. 付属のクリーニングブラシをコーヒー粉の通り道に挿入し、中のコーヒー粉を優しく掻き出してクリーニングします。出口周辺に付着したコーヒー粉もブラシを使い取り除いてください。
＊コーヒー粉の通り道を強く突かないでください。

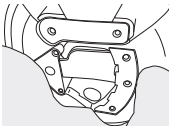


6. コーヒー粉の通り道のフタの周辺は柔らかい布で拭き取ってクリーニングしてください。

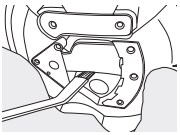


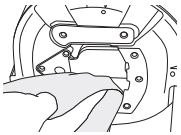
7. 電源プラグをコンセントに接続します。コーヒー粉の通り道のフタは自動で閉まります。フタが閉まっていることをご確認ください。



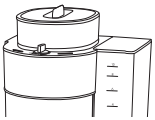


8. 再度、付属のクリーニングブラシと柔らかい布で拭き取ってクリーニングをしてください。





9. 本体を起こして、ホッパー、水槽タンクとポットを取り付けます。



10. コーヒーの抽出手順に従ってコーヒーを抽出してお好みのコーヒーを抽出できることをご確認ください。

お手入れ後はコーヒー粉の通り道のフタを必ず閉めてください。抽出が開始できない恐れがあります。コーヒー粉の通り道のフタが自動で閉まらない場合は、コーヒー粉ボタンを5秒以上長押しして、コーヒー粉の通り道のフタを閉めます。

コーヒー粉の通り道のフタの開閉中は、フタやその周辺に絶対に触れないでください。大けがをする恐れがあります。

ご使用方法

カルキ洗浄のしかた

CALC洗浄ボタンが赤く点灯するとカルキ汚れ蓄積のサインです。以下の手順でカルキ洗浄を行ってください。

⚠ 注意 **カルキ洗浄を行う時は、時刻設定がされていること、タイマー設定がオフになっていることをご確認ください。**

① 水槽にカルキ洗浄液を注ぐ

クエン酸（市販品）20gを750ml（水槽タンク「6杯」の目盛り相当）の水に溶かして水槽タンクに注いでください。

② CALCボタンを短く押す

CALCボタンを短く押すと、赤色ランプが点滅し、カルキ洗浄が始まります（所要時間：約25分）。

＊カルキ洗浄が終了すると、CALCボタンが消灯し、電源が自動的に切れます。

＊カルキ洗浄中に電源を切ったり、他の操作はしないでください。洗浄が中断された場合、CALCボタンは消灯しません。

＊カルキ洗浄が終了してCALCボタンが消灯しても水槽タンクに水溶液が残っている場合があります。

③ カルキ洗浄が終わりましたら、本取扱説明書P8に記載の洗浄運転を実施してください。

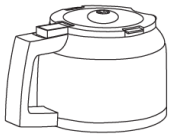
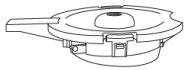
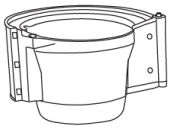
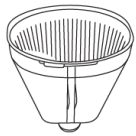
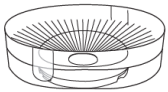
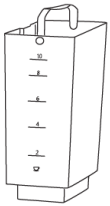
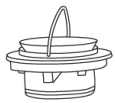
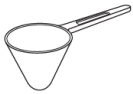
修理を依頼する前に

以下の内容をチェックしても症状が改善しない場合はメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

症　　状	ここをお調べください
電源が入らない	■ 電源プラグはコンセントに入っていますか?
湯が出ない/湯の出が悪い・遅い	■ 電源ボタンはオンにしましたか？　■ 水槽タンクに水は入っていますか？ ■ 水槽タンクの中に異物が詰まっていませんか？　■ 最近1～2カ月の間にクエン酸（市販品）を使用してカルキ洗浄をしていますか？
フィルターからコーヒーが落ちてこない/フィルターから湯が溢れる/フィルター内に湯が残る	■ コーヒー粉を入れすぎていませんか? ■ ステンレスポットはきちんとセットされていますか? ■ 内部フィルターは正しくセットされていますか?
ミル歯が止まる・空回りする	■ ミル歯の隙間にコーヒー粉が詰まっているかもしれません。クリーニングブラシでコーヒー粉をかき出すかエアースプレー等で飛ばしてから電源ボタンを押してください。 ■ ホッパーにホッパーのフタがセットされていますか?
豆マークが点滅	■ ホッパーはきちんとセットされていますか?　■ ホッパーのフタを閉めていますか?
コーヒーがぬるい	■ コーヒーを淹れてから時間が経過していませんか?（本機には保温機能がありません） ＊コーヒーを温め直したい場合、他の容器に移し替えて電子レンジ等で温めてください。 ■ この保温ポットはステンレス製保温ポットを採用しているため、ご使用になる前に一度お湯で内部をすすいで温めておくと、おいしいコーヒーを召し上がることができます。
コーヒーが薄い	■ ホッパー内にコーヒー豆が詰まっていませんか? ■ 杯数ボタンでコーヒー豆を挽く量を設定しましたか? ■ 水槽タンクに入れた水量より、杯数設定が少なくなっていませんか? ■ P12に記載されている「コーヒー粉の通り道のお手入れ」を実施していますか?
コーヒーが濃すぎる	■ コーヒー粉を入れすぎていませんか? ■ 水槽タンクに入れた水量より、コーヒーを挽く量が多くなっていませんか? ■ P12に記載されている「コーヒー粉の通り道のお手入れ」を実施していますか?

ご購入可能な交換部品、別売品

ご購入は、お近くの量販店、ショッピングサイトまたはメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

部品名称／部品番号			
ポット TJ-1022		ポットフタ TJ-1022フタ	
フィルターカバー FC1021		内部フィルター CF1021	
ホッパー CH1022		ホッパーフタ CH1022フタ	
水槽タンク WT1021		ミル歯（上歯） UB1021	
メジャースプーン MJ-0502			

修理・アフターサービスについて

修理には専門的な知識および技術が必要です。 誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながりますのでおやめください。「修理を依頼する前に」の表によりお調べいただいても異常があるときは、事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご相談ください。その際、品名とお買い上げ時期をお知らせください。

- **この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための必要な部品）は製造打切後、最低5年間保有しています。**
- **一般家庭以外（たとえば業務用など）にお使いになったときの故障は、保証期間内でも原則として有料修理になります。**
- **保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。そのほか詳細は保証書をご覧ください。**

保証規定

1. お客様の正常なご使用状態で、保証期間中（お買い上げ日より1年間）に故障した場合は、無料修理させていただきます。その際、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご依頼ください。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
   イ）使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
   ロ）お買い上げ後の移動、設置、落下、あるいは輸送による故障および損傷
   ハ）火災、塩害、ガス害、異常電圧、および地震、雷、風水害、その他の天災地変などによる故障および損傷
   ニ）本書のご提示がない場合
   ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. ご転居の際は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. ご贈答品などで、本書に記入されたお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

修理メモ

＊この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へお問い合わせください。

＊アフターサービスと保証についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へご相談ください。

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-550267**

＊通話料はお客様負担となります。

[受付時間] 9:00～12:00　13:00～17:30
※土・日・祝日・年末年始は除く

®Registered trademark of a company of the Melitta Group

保証書

この商品には「保証書」が付いています。

- 保証対象は本体のみです。
- 保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みになったうえで大切に保管してください。
- 万一、故障したときは、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が取り次ぎ無料修理いたします。

※電気系統の故障以外（破損など）は保証対象外です。

品　　名			
アロマフレッシュ サーモ AFT1022			
お買い上げ年月日		保証期間	本体1年
年　月　日			
お客様	ご住所	〒 TEL　（　　）	
	ご氏名	フリガナ	
販売店	店名 住所	★この欄に販売店によるご記入がない場合は無効となりますので必ず記入の有無と捺印をご確認ください。 TEL　（　　）　印	

販売店様へのお願い
保証書に必ずご購入日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

販売者 Melitta JAPAN メリタジャパン株式会社

- **この保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内の修理やその後のアフターサービスに利用させていただく目的から記録に残す場合がありますのでご了承ください。**
- **修理や配送を当社から協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供することはありません。**

202505